

FOREX 森の土づくり 研究室

3つの約束

① 確かな原料で、こだわりの配合

すべての原料に品質基準を設け、クリアした原料のみを使用。培養土の開発では植物ごとに研究を重ねて、独自のレシピを作り上げます。

② すくすく育つか、しっかり確認

開発した培養土は研究室と試験用ハウスで発芽と生育をしっかり確認。商品は作るたびに品質をチェックしてから出荷します。

③ 責任をもって、サンプル保管

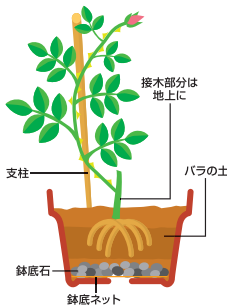
培養土は決められた期間、出荷したすべての製品サンプルを研究室で保管。お客さまからのご相談やお問合せに、迅速に対応します。



植えつけのポイント! (鉢植えの場合)

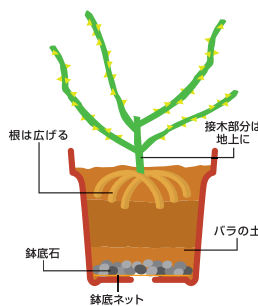
- 新苗: 接木され初めて伸びてきた苗のこと。
- 大苗: 前年の冬の間に接木で増殖した苗木を、春から秋まで畑で育てて大きくした苗のこと。

新苗



鉢は6号(口径18cm)以上のものを用意します。底に鉢底石を2~3cmほど敷きます。苗を、根を傷めないようにポットから抜きます。根はほぐさず、接木部分が埋まらない高さに置いて、苗が動かないように培養土をしっかりと入れます。水やりは、鉢底から流れ出るくらい与えます。鉢底部分はまだ弱いので、折れないように支柱を立てます。
※施肥についてはお手持ちの肥料の使用説明に従ってください。

大苗



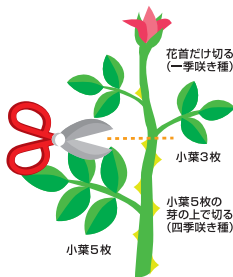
鉢は7号(口径21cm)以上のものを用意します。一季咲き性種やつるバラは大きくなるので8号(口径24cm)以上の鉢にします。底に鉢底石を2~3cm敷きます。苗は根を広げて植えつけます。接木部分は地上に出る高さにします。根が長すぎる場合は1/3ほど切ります。根の間にもしっかりと培養土を入れます。水やりは、鉢底から流れ出るくらい与えます。
※施肥についてはお手持ちの肥料の使用説明に従ってください。



栽培のコツ!

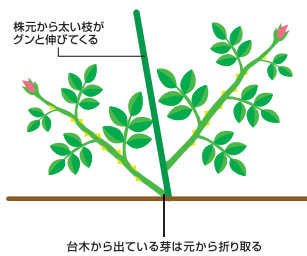
花から処理

花が終わりがけたら早めに切ります。四季咲き性種では、5枚葉を1~2枚つけてよい外芽(株の外を向いている芽)の5mm上で切ります。枝を伸ばす方向によっては内芽を切ってもよいでしょう。一季咲き性種は花首だけ切ります。(実を楽しむ目的があれば切りません。)



シュート処理

株元から出て伸びる芽をシュートといいます。将来的に主枝になる大切な枝です。そのまま伸ばして花を咲かせるより、蕾が出る前にその芽の先端をつまみ取るとうい枝になります。50cmほど伸びたら先端10cmを取ります。わき芽が伸びてきたら同様に取ります。



商品名	バラの土
主要配合原料	ピートモス、堆肥、火山性砂礫、パーライト など ※品質向上のために変更する場合があります。ご了承ください。
pH	6.5±0.5
肥料配合の有無	無

注意
●乳児・幼児の手に届かない場所に保管してください。誤って口に入れたり、空気を吸ったり、かきまわったりしないようご注意ください。
●高湿多湿などの環境下になるとコケやカビ等が発生することがありますが、品質の影響はありません。安心してお使いください。
●前の袋の裏方、アルミホイルのある方は、手袋等をつけて作業を行ってください。



FOREX
森産業株式会社

フリーダイヤル: 0120-133191
Eメール: forex@forex-mori.com
ホームページ: <http://www.forex-mori.com/tucchi>
万一品質に不具合がありました時は、上記フリーダイヤル、Eメールまでお問い合わせください。



ごみに出すときは自治体の区分にしたがってください。

バラの土 5ℓ

